

まちのわだい

～カメラスケッチ～



消防庁舎建設に向け町民説明会を開催

建設から51年が経過した訓子府消防庁舎は、施設の老朽化などのため、国の制度を活用し今年度建設に着手することとなり、6月11日に町公民館、12日に日ノ出地区ふれあいセンターで町民説明会を開きました。

町民説明会では、設計案の説明を行ったあと、参加者の皆さんから活発な意見が出されました。意見を参考に設計を進め、より良い消防庁舎の建設に向けてのことになっています。



みんなでラジオ体操



運動不足解消へ

新型コロナウイルスの影響で外出自粛による運動不足解消のため、6月1日から30日までの平日に町公民館でラジオ体操を行いました。

初日の1日には、くねっぶラジオ体操会の小川征治さんの指導の下、参加者は少し汗ばみながら楽しそうに体を動かしていました。

訓中2年生がデザイン考案

自分の暮らしを考える

新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休校期間中、訓中2年生51人が美術の課題として、「WITH コロナ～自分たちの暮らしを自分たちで考える」をテーマに、新型コロナウイルス感染予防の啓発普及のデザインを考案しました。

各自、自宅で作案したデザインを学校に提出し、美術担当の小久保教諭がパソコンで調整して完成させました。

個性あふれる作品の数々は校内展示後、町公民館で6月30日から展示されています。



JAきたみらいがタマネギ寄贈

新型コロナウイルスの影響を受けている飲食店などを応援しようと、JAきたみらいは地域飲食店応援企画として、北見市と置戸町、訓子府町にタマネギを無償提供しました。

この企画は、新型コロナウイルス感染症による自粛で飲食店などの利用が減少している中、それぞれテイクアウトなどで苦慮しながら営業している各店舗に対して、JAきたみらい管内の農家で生産されたタマネギを提供することにしました。

訓子府町では黄タマネギ20kg入り31ケース、赤タマネギ10kg入り9ケースが5月28日に町商工会に届き、各店舗に配布されました。



町内小中学生へ牛乳券配布

北見地区農業振興連絡協議会と訓子府町酪農振興会は6月8日、牛乳消費拡大の取り組みの一環として、町内の小中学生1人200円分の牛乳贈答券を2枚配布しました。

当日はJAきたみらいの大坪専務、町酪農振興会の渡邊会長、菊池町長が各小中学校を訪問し、各校長や児童に配布しました。

各学校では「牛乳を飲んで、健康な体づくりを行います」と感謝の言葉を述べていました。



今月の1枚

町の素敵な瞬間を紹介しています。

今月は「レクリエーション公園の芝桜」です。

